

スポーツYAMATO

新海先制打

全日本総合選手権大会
松本大との接戦制す



松本大学ペースで試合が進む苦しい試合展開を打開したのは新海の強烈な一振りだった。レフトオーバーの二塁打はとにかく欲しかった先制点をもぎ取るとともに、流れを呼び込む一打となった。主砲新海は今年も健任だ。

全日本総合選手権大会長野県予選 4月30日(土) 番場原総合運動場

松本大学	0	0	0	0	0	1	0	1
	1	2	3	4	5	6	7	
大和電機	0	0	0	1	1	3	/	5

勝利投手 大串都未希

本塁打 堀あかね

三塁打 小柳結、立川可純

二塁打 新海雪奈

松本大学の打線何とか抑えた
堀 価値ある一発で突き放す

幾度となく練習試合をしてきた松本大学との一戦は、お互い手の内を知り尽くし大和電機優位の試合展開になるかと思われたが、予想に反し、終始松本大学ペースで試合が進んだ。エース大串の初球を積極的に振り、芯をとらえた打球はどれも痛烈な当たりで初回からピンチを招いたが、何とか0点に抑えた。2回以降も同様な流れが続いたが、大串都未希が踏ん張り何とか松本大学に点数を許さなかった。一方打線は、3回まで松本大学のエースを攻略出来なかったが、4回裏に新海雪奈が強烈なレフトオーバーの2塁打を打ち先制点を奪うと、5回には堀あかねが左中間に本塁打を打ち、価値ある追加点で突き放した。更に6回には立川可純が左翼線への2塁打で1点を追加し、ダメ押しは宮崎遥希が適時打を打ち2点を追加して試合を決めた。



記者が今年の注目選手としてあげている5年目の小柳結が2安打で結果を出した。本来の引つ張るバッティングではなく、2本とも右方向へ、打った本人に話を聞くと「私、実は右方向にも打てるんですよ」と笑って語った。第1節は一人だけ出遅れてしまっただけに今日の結果は嬉しかったことだろう。今後の活躍に是非注目していただきたい。

注目の小柳が2安打

出ても見事な投球術で5回まで得点を与えなかった、エース大串のピッチングはさすがだったと言える。また、特筆すべき点は最終回に登板した左のエース斉藤未来だ。6回裏に追加点を挙げ、ようやく来た流れを渡さず3人で締めくくった点は成長の証と言えるだろう。これからのピッチングが楽しみだ。